

兵庫県神崎郡福崎町でオキナワルリチラシを確認

高橋輝男

オキナワルリチラシ本土亜種 (*Eterusia aedeae sugitanii* Matumura) はマダラガ科ホタルガ亜科のガ (井上他, 1982; 江崎他, 1999) で, 本州中部まで広く分布しているが, 当地方では少ないガであることには間違いない. 本誌でもその報告は見あたらない. そのオキナワルリチラシを 2012 年に兵庫県神崎郡福崎町田口で確認しているのでここに報告する.

確認場所は福崎町田口にある七種山 (なぐさやま) への登山道のうちの 1 本である小滝林道である. 2012 年 9 月 8 日の午後 2 時半頃, 小滝林道の最奥で木々を眺めていた時に 5 ~ 6m 離れた木の葉の上にオキナワルリチラシと思われるガが止まっているのを見つけた. 取り敢えず遠くから数回撮影した (図 1). 暫くするうちに少し風が強くなりそれとともにガが飛ばされて幸運にも近くに止まった (図 2). 間違いなくオキナワルリチラシであり, 触角から♀であることが分かる.

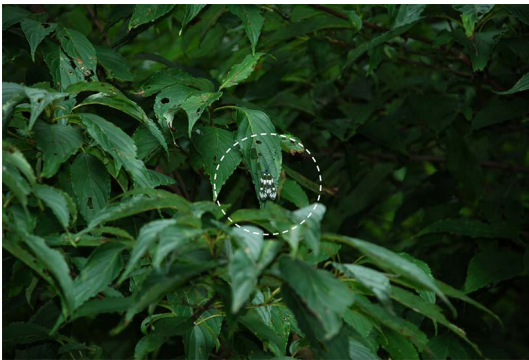


図 1 木の葉で翅を休めるオキナワルリチラシ.



図 2 オキナワルリチラシ (♀).

本種の幼虫食餌植物はヒサカキ, ヤマツバキ, チャノキ, ツツジ, ミミズバイなどであり, それらの木は付近に多く生えておりオキナワルリチラシが発生しても不思議ではない. その後現在に至るまで度々小滝林道を訪れているが, 小滝林道は勿論, 福崎内でオキナワルリチラシに出会ったことはない.

○参考文献

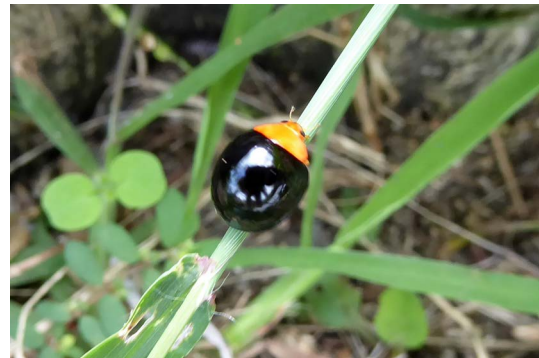
井上寛他著, 1982. 日本産蛾類大図鑑. 講談社
江崎悌三・一色周知他 共著, 1999. 改訂新版 原色日本蛾類図鑑 (下). p.132, 保育社

(Teruo TAKAHASHI 兵庫県神崎郡福崎町)

兵庫県西宮市でムネアカオクロテントウを記録

神吉正雄

近年外来種として関西にも侵入してきているムネアカオクロテントウ (*Synona consanguinea*) を西宮市において確認したので報告しておく.



2exs., 29. IX. 2019 西宮市仁川五ヶ山町 10 (写真)

1ex., 16. X. 2019 西宮市仁川町 6 丁目 24; 3exs., 17. X. 2019 同所

確認場所は 2 カ所で, 仁川中流の河川近くにある公園と住宅地である. マルカメムシが多産しているクズの葉上ないし, 葉裏に止まっていた. 筆者は 9 月中旬以降 11 月上旬まで西宮市, 芦屋市, 宝塚市南部のクズが自生している場所を目視ないしピーティング・スウィーピングで採集を試みたが, 上記の 2 地点のみで採集できた.

ご助言を頂いた大阪市立自然史博物館の初宿成彦様にお礼を申し上げます.

(Masao KAMIYOSHI 兵庫県宝塚市)